

ほしのちラボ（県内大学等連携研究推進事業）主催
『地域資源としての星空の可能性に関するワークショップ 2019』

主催：ほしのちラボ（平成 30 年度県内大学等連携研究推進事業）

協力：えちぜん鉄道株式会社、福井市自然史博物館、福井大学地学研究室、
UDSC（アーバンデザインセンター坂井）

後援：環境省中部地方環境事務所、福井県、坂井市、福井新聞社、FBC 福井放送、

国際ダークスカイ協会東京支部、日本建築学会雨水活用推進小委員会、福井工業大学

※後援予定も含んでいます。

○概要

「ほしのちラボ」では、地域資源としての星空の価値が見える化によって、星空とヒトをつなぐ次世代を見据えた地域活性化向上につながる提案を目的に活動しています。昨年度には福井市内(福井駅周辺)で実施した“ほし×まち歩き”ワークショップを、今年度は坂井市三国湊エリアを舞台に開催します。

新たな取り組みとして、雨水利用の環境活動に取り組んでいる「しまあめラボ」（代表 笠井利浩教授（本学環境情報学部環境・食品科学科））との合同シンポジウムを開催します。また、シンポジウムにおいては、本学のさまざまな学科の学生がファシリテーターとなって、シンポジウム参加者とのフューチャーセッション(グループワーク)を実施し、“星空と雨水”をキーワードとした「未来の暮らし」を考えます。

○タイムスケジュール

【一日目】

3月8日（金） 場所：三国湊座・三国湊エリア

時間	項目	詳細
17:30	参加者受付開始	三国湊座
18:00	イベント開会・挨拶	趣旨説明
18:05	まち歩きへのプロローグ	360度カメラを使用した写真撮影のレクチャー
18:40 ～20:30	星空×○○まち歩き	①まち歩きを行うエリアの説明 ②エリア内でどういった場所に行くか作戦会議 ③グループに分かれてまち歩き 【まち歩きと撮影の目的】星空と○○をテーマにまち歩きを行うことで、星空と共に写したい被写体を考えることで、地域地源としての意識付けを図る。360度カメラを用いることで星空が美しく見える方向、そうでない方向も分かるため、何が影響しているのかを考えることで星空保護の観点から意識醸成を図る。

※雨天の場合（晴天時より変更箇所のみ記載）

18:40～20:30 三国湊エリアの夜間景観に着目したまち歩き

夜間景観や街灯等の照明状況について把握し、星空保護に向けた関心・意識を高める。

また、夜間景観が地域の価値向上につながるのかを考える。

【二日目】

3月9日（土）

午前の部 場所：セーレンプラネット

時間	項目	詳細
10:00	参加者受付開始	
10:30 ～12:00	レクチャー 福井で見える星空	360度ドームで福井の星空について、一日目に撮影した写真を上映しながら意見交換を行う。

午後の部 場所：A O S S A 7階 Fスクエア

ほしのちラボ×しまあめラボ 合同シンポジウム「星空×雨水がある未来の暮らし」

時間	項目	詳細
12:30	参加者受付開始	
13:00	シンポジウム 開会	
13:20	トークセッション①	(講演内容) 『無』を資源に変える ～五島列島赤島の雨水生活による離島振興～ (講演者) 笠井利浩（本学環境情報学部環境・食品科学科 教授）
13:50	トークセッション②	(講演内容) 福井の星空の魅力と可能性 (講演者) 橋本芳紀 氏（星のソムリエ®）
14:30	フューチャーセッション	本学学生がファシリテーターとなって、“星空と雨水”をキーワードに「未来の暮らし」をグループで考える。
16:00	グループ発表	未来に向けた福井からの提案発表
17:00	シンポジウム 閉会	

○ワークショップの申し込み

(締切日 3月1日)

問い合わせ先:福井工業大学 社会連携推進課

TEL: 0776-29-2661 FAX: 0776-29-7843 Mail: shakai-u@fukui-ut.ac.jp

※ほしのちラボのFacebook ページからも申し込み可能です。

《ご参考》

ほしのちラボ Facebook <https://ja-jp.facebook.com/HoshinochiLab/>しまあめラボ Facebook <https://ja-jp.facebook.com/shima.ame.lab/>